

先生の推し本

第5回



2022年9月2日～
11月末頃

難波知子先生



2003年、お茶の水女子大学生生活科学部人間生活学科卒業。
2006年、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科 博士
前期課程修了、2010年、同 博士後期課程修了、博士
(学術)。

2011年より お茶の水女子大学リサーチフェロー、2012
年より お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
文化科学系助教、

2017年より お茶の水女子大学大学院基幹研究院人文科
学系准教授。

専門は、日本服飾史・服飾文化論。

2020年9月、著書『近代日本学校制服図録』（創元
社、2016）『ビジュアル日本の服装の歴史3. 明治時代～
現代』（ゆまに書房、2018）などで、第7回国際服飾学会研
究奨励賞を受賞。

テーマ：読書嫌いの私が出会った本
〈小さいうち〉から〈青春の終わり〉・
〈お別れの始まり〉まで

<テーマ選択②>

正直に白状すると、読むのも書くのも大嫌い。なぜこの仕事に就いたのか、自分でも謎です。そんな私でも、子どもの頃にいくつかはまった本があったり、学生時代にたまたま父が図書館から借りてきた本を読んで、その時の自分にぴったりだったり、不思議なご縁を感じる本がありました。

ここにご紹介する本は、決して厳選吟味したものではありませんが、思いつくまま、何か心にひっかかったものを選びました。本はそれぞれ読むタイミングがあると言いますが、誰かの「今」読むべき本や気軽に楽しくページをめくってもらえる本が一冊でも含まれていれば幸いです。



図書館HPの
企画展示ページへはこちら